

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2-①	子育て支援を充実する	健康・こども部、学校教育部、社会教育部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
保育園の待機児童数	人	0	0	32			0
放課後児童クラブの待機児童数	人	2	27	10			0
関連事業							
○民間保育所施設整備支援事業○特別保育拡充事業○ファミリーサポート事業○地域子育て支援推進事業○民間保育所助成事業○公立園幼保一元化推進事業○小児医療費助成事業○地域療育システム事業○母子保健事業○放課後児童健全育成事業○吉沢地区地域交流・子育て支援拠点づくり推進事業○ブックスタート事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費(千円)	2,628,247						
執行率(%)	94.21						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<ul style="list-style-type: none"> ●民間保育所に対する小規模修繕等施設整備や施設整備費の一部助成をすることで、入所児童の処遇向上を図りました。 【サンキッズ金田ほいくえん(定員20人増)、いずみ保育園(定員20人増)】 ●一時預かり(29園)、休日保育(1園)、延長保育(39園)、病後児保育(1園)を実施し、多様な子育てニーズに応えました。 ●地域の人たちの助け合いによる「ファミリーサポート事業」に取り組み、仕事と育児の両立等子育てがしやすい環境づくりを推進しました。 【会員数：依頼会員1,195人、支援会員275人、両方会員45人 活動件数：2,478件】 ●子育て支援センターやつどいの広場を通じて、子育て中の親の子育てに関する不安や疑問の解消を図りました。 ●社会福祉法人等が運営する保育所や認定こども園に対し、自主的で柔軟な施設経営に関する費用の一部を助成し、入所児童の処遇向上と地域間の均衡の確保を図りました。 ●認定こども園のモデル施設としての港こども園整備が完了しました。 ●通院の助成対象を小学6年生までから中学3年生までに拡大し、中学卒業までの入院及び通院の医療費助成を行うことで、子どもの健全な育成と健康の増進を図りました。 ●発達に課題のある子どもの保護者が持つ「はぐくみサポートファイル」の普及を図りつ 							

つ、幼稚園・保育所への定期的な巡回相談や5歳児健康診査を実施し、障がいの早期発見・早期療育やその後のフォローなど機関支援及び個別支援に取り組み、未就学から小学校入学以降までの一貫した支援の充実を図りました。

●妊婦健診に対する補助を増額するとともに、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を対象とするこんにちは赤ちゃん訪問事業により、出産後早期に育児支援及び子育てに関する情報を提供することで、妊娠・出産・子育てに対する不安の解消を図りました。また、子育て世代包括支援センターの開設に向けた準備を進めました。

●学童クラブの小学校余裕教室への2クラブの移設と既存2クラブの分割に向けた調整を行いました。

●現吉沢公民館敷地内に公民館、認定こども園の整備に向けた準備を進めました。

●赤ちゃんと保護者に、赤ちゃんと絵本を楽しむ時間の大切さを伝えながら絵本を手渡しする「ブックスタート」を図書館の他、保健センターの「7か月児相談」などで開催し、参加機会を拡大しました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>●保育所施設の老朽化や待機児童解消のため、状況に応じた的確な対応が必要です。</p> <p>●子育て中の保護者の急用やリフレッシュなど多様な保育希望に対応する必要があります。</p> <p>●ファミリーサポート事業において、支援会員数を増やすことが課題です。</p> <p>●親子や親同士の交流の場の重要性が高まっており、地域で行う子育て支援活動を推進する必要があります。</p> <p>●施設運営費等の助成について、教育や保育の質の向上による児童の処遇改善、保育士確保や保育士の就労環境の向上、更には、高まる保育需要に対応できるよう、随時、補助等の内容を見直していく必要があります。</p> <p>●国の医療制度や県の補助金制度の見直し状況、本市の財政状況等を総合的に踏まえ、制度内容を検証する必要があります。</p>	<p>●入所児童の安全、衛生面等の生活環境の改善のため、小規模修繕等を実施します。</p> <p>●一時預かり、延長保育、病後児保育、休日保育を実施するため、保育士の確保や適性配置に努めます。</p> <p>●支援会員の研修等の充実とともに、積極的なPR活動を行うことにより、支援会員数を増やします。</p> <p>●子育て支援施設の市内の配置状況や地域の人口などを勘案して、つどいの広場の整備を検討します。</p> <p>●保育所の自主的で柔軟な施設経営を促進し、入所児童の処遇向上と地域間の均衡の保持を図るために、民間保育所に運営費を助成します。また、届出保育施設に対し児童健康診断受診料等を助成します。</p> <p>●医療費の増加抑制のための啓発を行うとともに、近隣市町村の状況を研究しながら、効率的かつ安定的な事業運営を図ります。</p>

●発達に課題のある子どもについて、関係機関との連携や幼稚園・保育園と小学校等とのつなぎを更に強化する必要があります。

●子育て中の世帯が、身近に育児支援者が得られにくいため、関係機関との連携により地域における妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目ない支援のさらなる充実が必要です。

●学童保育について、各地区の状況を細かく把握した上で整備することが必要です。また、老朽化、狭あい化が進んでいる施設において、利用児童の安心・安全を確保する必要があります。

●吉沢地区における公民館、認定こども園の整備に当たり、早期建設及び経費削減が可能な手法を検討していく必要があります。

●より多くの赤ちゃんと保護者に、赤ちゃん絵本を楽しむ時間の大切さを伝える必要があります。

●5歳児健康診査の実施や小学校を中心に臨床心理士などの相談員が巡回して、子どもの発達を継続的に支援します。また、専門スタッフの相談体制の充実を図ります。

●子育て世代包括支援センターを運営するとともに、関係機関との連携、健診・教室・相談・訪問事業の充実を図ります。

●利用児童数の増加等の動向を注視し、既存の放課後児童クラブの分割や新規委託等を検討していきます。また、必要に応じて、公的施設への移転を進めます。

●建設に向けて、工事所管課とともに工事に係る事務手続きを進めていきます。

●参加対象者への事後アンケートの実施などにより事業の効果を測るとともに、関係各課等と連携を図りながら、より多くの市民へ事業の重要性や効果をPRします。